



野木町長
真瀬宏子

ひろ コラム

No.132

節目の時に

3月は卒業、卒園、年度末、と何かと節目を迎える時期です。変わり目に向かう最後の月で、冬から春へと季節も変わる時でもあります。3月までの自分に卒業して、4月からの自分へ期待を膨らませるいい機会ですね。新しい自分に切り変える「節目」の時です。変わっていく自分に期待したいです。春に一齐に自然が目覚め変化していくように、この節目の 때가、よりよい自分に変わっていくきっかけとなりますように。

また一方、普遍的で変わるべきでないこともいっぱいあります。変わらずにあって美しいもの、守るべきものもたくさんあります。いつまでも変化しない本質的なものも忘れないでいたいと思います。

昔から不易と流行、変わらないものと変わっていくもの、そのどちらも大切に、バランスよく調

和させることも難しいですが、やりがいはあると思います。新しい変化に対応する自分と変わらない自分と、その両方の調和をとって新年度に向かいたいと思います。変化していく自然と、変わらない自然の姿の織り成す彩は素晴らしく、私たちに感動を与えてくれます。

今年は町制60周年の記念すべき年です。改めて、先人からの変わらない野木町と新しく時代に沿った野木町とが、バランスよく進んでいくように心がけてまいりたいと思います。昔から不易流行（変化しない本質的なものを忘れない中にも新しい変化を取り入れること）については永遠の命題です。しっかり見定めたいと思います。



小山地区定住自立圏

小山地区定住自立圏とは、野木町・小山市・下野市・結城市が連携・協力して、誰もが住みたい・住み続けたいと思える圏域を目指す構想です。

このコーナーでは、イベント情報など、各連携都市の魅力を紹介します。

第44回 天平の花まつり

下野市の天平の丘公園は、国指定史跡の下野国分寺跡・尼寺跡を有し、桜の名所として知られています。園内には日本3大桜の根尾谷淡墨桜・三春滝桜・山高神代桜の子孫樹のほか、しだれ桜や八重桜など、約30品種の桜が次々と咲き乱れます。

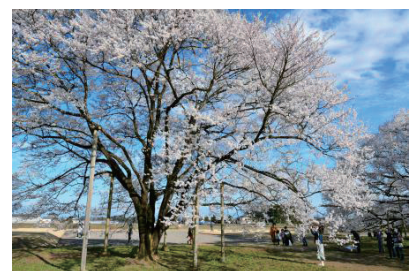
令和元年11月に行われた令和の大嘗祭^{だいじょうさい}では、新穀を献上する悠紀^{ゆき}地方に栃木県が選ばれ、歌会始選者の篠弘氏が県内の自然や習俗などに着材し詠進した風俗歌^{ふうぞくた}九首のなかに、下野市の天平の丘を表した歌が詠まれました。

『三月の 淡墨桜を皮切りに 咲き広げれる 天平の丘』

桜の開花にあわせて、公園内で「天平の花まつり」を開催します。古の飛鳥文化の面影を残す「東の飛鳥」下野市に、ゆったりと花見散策に出かけてみてはいかがでしょうか。

📅 3月18日(土)～4月30日(日) 📍 天平の丘公園(下野市国分寺993-1)

📞 下野市観光協会 ☎0285(39)6900



天平の丘公園の淡墨桜



下野市観光協会
ホームページ